

市内での主なロケ地をご紹介します。



▲俳優の江口洋介さんの身長の高さに驚きましたと話す福永さん

「ロケ地にしたいと聞いたときはすごく驚きました。撮影にあたり少し綺麗に片づけられないといけないと思いました。そのまのリアルさを出したいと言われまして。数コマの映像のために想像以上に多くのスタッフの方が動いているんだなと思いました。出演シーンでは数回で監督からOKをいただきました。」

栄鶏園 福永 栄さん
(所在：甲賀町神一三九)
採れたての新鮮卵を渡すシーンが撮影されました。



特集

ロケ地を誘致し

甲賀市を全国に発信！

「多くのロケ地に協力いただき映画『線は、僕を描く』公開中！」



市ではこれまで「スカールレット」に続き「甲賀ロケーション推進協議会」が中心となり、多くの映画やドラマにロケ地を誘致し甲賀市を全国に発信してきました。今回も同推進協議会、ロケ地として協力いただいた方のおかげで完成した映画『線は、僕を描く』が公開中です。

これからはオール甲賀で甲賀市を全国に発信するためにみんなで盛り上げていきましょう。

映画の詳細等詳しくは、映画「線は、僕を描く」公式サイト



甲賀看護専門学校

(所在：水口町北内貫二八〇ー二)



▲撮影時のお話を伺った中尾副学校長(左)と後村さん

副学校長 中尾 裕子さん
専任教員 後村 敦子さん

病室でのシーンが撮影されました。

中尾さん

「新型コロナの影響で病院内でのシーンが撮影できないため、本校に依頼がありました。窓から見た風景が監督の目に留まり校内での撮影がスタートしました。」

後村さん

「病室で看護師が病状を伺い退室するまでの演技を指導しました。わずか数秒のシーンを撮影するのに何度も繰り返し変更しての撮影で、改めて撮影の大変さを実感しました。」

中尾さん、後村さん

「いかにリアルに病院での風景が出せているかを見ていただきました。」

ロケ地を誘致し

甲賀市を盛り上げたい！



会長 村木 慶太郎さん
甲賀ロケーション推進協議会

「NHK連続テレビ小説「スカールレット」の舞台になった事をきっかけに、各種団体の皆さんとロケ誘致や支援、観光活用に取り組んでいます。その成果として、甲賀市は県内でも有数のロケ地として様々な映像作品のロケが行われるようになっていきました。そうした一つ一つの取り組みが、今回のロケ実現に繋がったものと大変うれしく思います。また、今後ますます映像を通じて甲賀市を全国に発信していくため、ロケ地のデータベース化、市民エキストラや協力会員の募集等、皆さんと共に楽しみながらロケ支援を行うことで「映像の聖地」甲賀市として、地域活性化に繋がっていきたいと考えています。」

市役所1階で パネル展を開催中！

映画の紹介や、市内で撮影された風景写真や実際に使用された衣装などを展示しています。記憶に残る映画のワンシーンを思い出させてくれます。



公開中！

映画『線は、僕を描く』

上映は水口アレックスシネマ等

●主演 横浜 流星
深い喪失の中にあつた主人公・青山霜介が水墨画との出会いで止まっていた時間が動き出す、喪失と再生の物語です。



小泉 徳宏 監督
Q：市内ロケ地はどのような印象でしたか？

甲賀市内では、病院という設定で市役所と甲賀看護専門学校を、お屋敷の台所という設定で油日神社などで撮影させて頂きました。いずれも、本来の役割とは全く違う設定での撮影だったので、現地の皆さんはさぞかし驚かれた事でしょう(笑)無理なお願いをすることも多々あったかと思いますが、どこも快く歓迎してくださり、素晴らしいシーンを撮ることができました。

Q：市内撮影で印象に残った場所やエピソードは？

こちらがご迷惑をおかけしている立場にもかかわらず、地元の名産品の差し入れをたくさん頂き、ハードな現場がとてもし癒されました。特に市役所では撮影の合間に「ちゃんこ鍋」の炊き出しをしてくださり、撮影で忙しく食べ損ねていた私が「こればかりは」と、撤回中だと言っているのに最後までお代わりをしてくれました。通常のロケだと、ご迷惑をおかけしているという負い目を感じながら撮る事がほとんどですが、甲賀市は、まるで一緒に闘っている戦友のような気持ちで撮影に臨めたのが印象的でした。また訪れたいと思います。市民の皆様、ありがとうございました。